

つかってみよう！ 「やさしい日本語」

～「やさしい日本語」で、
地域でのコミュニケーションを円滑化しよう！～



「やさしい日本語」を、ご存じですか？

きっと、「聞いたことないなあ」という方がほとんどだと思います。

「やさしい日本語」は、難しい言葉を言い換えるなどすることで、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。

もともとは、災害時の外国人への情報伝達的手段とされていましたが、現在では、外国人だけでなく、子どもやおとしより、障害のある人など、様々な人へのコミュニケーション的手段として、活用する動きが進んでいます。

「やさしい日本語」の「やさしい」は、「ひらがな」になっています。それは、「やさしい」の言葉が、二つの意味をもっているからです。

☆ 誰もが理解しやすい「^{やさ}易しい」日本語であるとともに、
相手への思いやりが伝わる「^{やさ}優しい」日本語 ☆

それが、静岡県と富士市が、普及に努める「やさしい日本語」です。
さあ、「やさしい日本語」の使い方のちょっとしたコツをつかんで、
ぜひ、地域でのコミュニケーションに役立ててください。

1 「やさしい日本語」って、いつ、使ったらいいの？

富士市でも、年々、外国籍の市民が増加しています。

皆さんがお住まいの地域でも、外国人の方を見かけることがあるのではないのでしょうか？



こんな風に、頭を抱えている地域の役員さんも、少なくないかもしれません。

でも、実は、「日本に住む外国籍の人たちに、一番、通じる言語は、『日本語』
という調査結果があるのです。

「通じる」と言っても、自由自在に日本語を使える方ばかりではありませんから、日本人と話すときと同じつもりで話しかけたのでは、なかなか意思の疎通は図れません。

そんな時こそ、「やさしい日本語」の出番です！

小さなお子さんにもわかる
「^{やさ}しい日本語」が

地域のコミュニケーションの架け橋となる
「^{やさ}しい日本語」なのです。

「やさしい日本語」で、同じ地域に住む外国籍の皆さんに、情報を伝えたり、時には、情報をもらったりして、コミュニケーションを図りましょう！！

2 何を、「やさしい日本語」に変換すればいいの？

「やさしい日本語」に変換するとき、全ての情報を変換する必要はありません。まず、何を伝えなければならないかを考え、情報の量を調整します。情報が多すぎると、日本語に不慣れた外国籍の方は、重要な情報、本当に必要な情報を見落としてしまうことがあるからです。

通知などを作るときも、時候の挨拶は省略し、単刀直入に用件に入ることが何より大切です。本当に伝えなければならないことだけを「やさしい日本語」にして伝えることが、効率よく情報を届ける「コツ」なのです。



3 「やさしい日本語」の基本ルール 〈言葉の変換〉

それでは、ここから「やさしい日本語」に変換する際のルールを紹介していきます。

ルール1：難しい言葉を避け、簡単な語彙を使います。

やさしい日本語では、難しい言葉を避け、日本語能力試験4・5級(N4・N5)程度の語彙を使います。これは、簡単な道順がわかったり、自分の欲しいものを説明できたりする程度の能力です。語彙のレベルは、インターネットで調べることができます。詳しくは、最終ページの〈参考〉をご覧ください。

ルール2：一つの文に一つの情報！ 文はできるだけ短く簡単に！

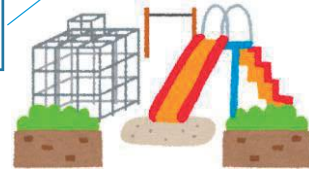
接続詞でつないで長い文にせず、情報一つごとに区切って、書いたり、話したりすることで、一つずつ理解して次に進むことができます。

例：公園の清掃があるので、日曜日の午前8時までに、公園に集合してください。

①掃除があること
②集まってほしいこと の二つの文に分けます。

変換

- ① 公園の 掃除を します。
- ② 日曜日の 午前8時に 公園に 来てください。



ルール3：難しくても覚えてほしい言葉は、そのまま使って説明を加えます。

災害の時に使われる言葉のように、知っている、いざという時役に立つと思われる言葉は、難しくてもそのまま使い、意味をくっこ書き>で加えたり、短い文で説明したりします。

例：余震 <=後から 来る 地震> に 気をつけて ください。

例：近くの津波避難場所に避難してください。

変換

- ① 近くの 津波避難場所に 逃げて ください。
- ② 津波避難場所は 高い 波から 逃げる 場所です。
- ③ まわりの 場所より 高い 山や 丘です。

話す時や、説明文が長くなり、<くっこ書き>で示すとわかりにくくなりそうな場合は、別の文で説明します。この時も、一つの文は短くします。



ルール4：説明は詳しくなりすぎないように注意！

きちんと説明しようとするあまり、細かく詳しくなりすぎないことが大切です。まずは、必要最低限の情報を伝えましょう。

例：町内会(区)の運営費用である町内会(区)費は、年度の初めに1年分徴収します。

変換

みんなのために 使う お金を 毎年 4月に 集めます。



ルール5：文末は、丁寧語の「です」、「ます」に統一

◆日本語学習では、丁寧語の「です」「ます」を先に習うので、丁寧語の方が理解してもらえます。

例： 学校に行く

変換

学校に 行きます

ルール6：相手への呼びかけは、「～してください」に統一

◆相手に呼びかける「～ましょう」は勧誘の意味もあるので、「～してください」を使います。

例： 車に気をつけましょう

変換

車に 気をつけて ください

ルール7：曖昧な表現や日本語特有の表現には注意が必要！

日本語には、特有の表現、少し曖昧な表現があります。こうした表現は、日本語に不慣れな方たちには、上手く伝わらないことが多いので、注意が必要です。

① 擬態語や擬音語

例：どんどん、ふわふわ、ガシャン、サッと など

◆日本人には、イメージを膨らめるのに役立つ言葉も、外国人には、全くイメージが伝わらないことが多いので、例：のような言葉は、使わないのが無難です。



② 数字や時間を表す時の曖昧な表現

例：くらい、ごろ、ばかり、ほど など

◆「5時ごろ来てください。」ではなく、「5時に来てください。」「10個くらい必要です。」ではなく、「10個必要です。」と、はっきり伝えましょう。



③ 断定的でない表現 推測表現

例：おそらく、たぶん、ではないでしょうか
ようです、おそれがあります など

◆文の中に、不確定な要素が入ると、わかりにくくなります。

⇒ 断定的な表現では問題がある場合は「～かもしれません」を使ってください。

これは、外国籍の方が日本語を学ぶときに、早い段階で学習する表現です。

例：地震が来る可能性があります。 → 地震が来るかもしれません。

④ 複数の意味を持つ表現

例：注意してください。 → 気をつけてください。

◆複数の意味を持つ表現は誤解されやすいので、一つの意味しかもたない表現を使ってください。例は、自分の行動に注意するのか、誰かの行動に注意するのか誤解される可能性があります。

⑤ 漢語名詞と 動詞を名詞にしたもの

例：記入します。 → 書きます。
揺れがありました → 揺れました。

◆漢語や、動詞を名詞にしたものは、わかりづらいので、できるだけ避けます。

⑥ 外来語（カタカナ語）



ライフライン?

0120-111-222
フリーダイヤル?

使わない方がよい例： ライフライン デマ フリーダイヤル など

使ってもよい例： テレビ ラジオ バス ガス ガラス など



◆国によって、意味や発音が異なり、誤解を招いてしまうことがあるので、注意が必要です。日常的によく使っていて、他の言葉での言い換えが難しい言葉は、使っても構いません。

ルール8：文法的に難しい表現は使わない

文法は、言語によって異なるため、以下のような表現には注意が必要です。

① 二重否定

◆「使えないわけではない」などの二重否定の表現は、混乱を招きやすいため、避けてください。

例：通れないことはない → 通ることが できます。



② 可能・不可能の意味の「～れる」「～られる」

◆日本語学習では、「～ができる」という表現を学習するので、こちらの方がわかりやすい表現です。

例：使えます → 使うことが できます
食べられません → 食べることに できません



③ 使役・受け身

◆誰が何をしたのかがわかりにくいので、混乱してしまうことがあります。使用を避ける方が、伝わりやすくなります。

例：太郎君は先生にほめられました → 先生は 太郎君を ほめました
先生は生徒に教室を掃除させました → 生徒は 教室を 掃除しました

④ 尊敬語・謙譲語

◆丁寧な表現はあっても、敬語を持たない言語も多いので、理解することが難しい言葉です。

「です」「ます」などの丁寧語を使用し、尊敬語、謙譲語の使用は避けましょう。

例：こちらにおいでください → ここに 来て ください
お宅にお伺いします → あなたの 家 に 行きます



4 「やさしい日本語」のルール 〈表記〉

ルール9：文は、文節ごとに「分かち書き」

文節ごとに間を空けた表記です。分かち書きすることで、言葉の切れ目が明確になり、わかりやすくなります。

例：今朝、地震がありました
→ 今日の(ね) / 朝(ね)、 / 地震が(ね) / ありました。

文節は、意味が不自然にならない程度に文を区切った時の最小単位のことです。
⇒例：のように、文の途中に「ね」を入れて区切っても、意味がわかるところで区切ります

だれかいたの？
だれか いたの？
だれ かいいたの？

ルール10：時間や年月日を、外国人にもわかりやすい表記で

- 時間は、12 時間表記 例：15 時 30 分 → 午後3時30分
- 年月日の表記に、/は使わない 例：2022/1/11 → 2022年1月11日
- 元号は使わず、西暦で 例：令和4年1月11日 → 2022年1月11日
- 「〇〇～××」ではなく「〇〇から××まで」と表記
例：図書館は 午前8時30分から 午後5時15分まで 開いています。

ルール11：使用する文字にも、配慮を！

① 漢字の分量に気をつけて、使いすぎない。

◆同音異義語がある場合は、漢字を使うことで誤解を防げることがあります。

例：手を拭いてください

この場合、ひらがなで「ふく」とすると、「吹く」と誤解される可能性があるので漢字を使う



② 漢字、カタカナには、ふりがなをふる。

◆漢字だけでなく、カタカナにもふりがなをふっておくと安心です。

かんじ かたかな
漢字、カタカナには、ふりがな

③ ローマ字は、できるだけ使わない

◆ローマ字表記は、外国語の表記と異なることが多いため、地名などの固有名詞以外には使わないようにしましょう。

例：jo(ジョ) → スペイン語圏では「ホ」、ドイツ語圏では「ヨ」 など

ルール12：絵、写真、図なども使ってわかりやすく伝えよう！

文字だけで伝えようとせず、あらゆる手段で伝える工夫をすることが大切です。また、絵や写真には、その名称や説明などを文字で添えて、日本語を覚えるお手伝いをしてあげてください。

5 さあ、「やさしい日本語」を、使ってみましょう！

長々と「やさしい日本語」のルールをご紹介しましたが、ここは、何より、「習うより慣れろ！」さっそく、使ってみましょう！

【 「やさしい日本語」で、地区の回覧文書を作ってみましょう。 】

〇〇区の皆さん

〇〇区長 ◆◆ ◆◆

町内一斉清掃のお知らせ

6月は、環境月間です。

この機会に、私たちの地域が住みやすい地域となるよう

みんなで地域の環境を見直す活動をしましょう。

今年は、環境月間の活動として、下記の日程で、

町内一斉清掃を実施します。

私たちの地区を、みんなできれいにしましょう！

日時	6月8日(日)	午前8時～
集合場所	〇〇公園	
清掃場所	公園、神社、道路などの地域の共有施設	
持ち物	軍手・帚・ちりとり・火ばさみなど	
服装	汚れてもいい服装	



地区の行事を案内する回覧文書。

皆さんの地区でも、こんな案内を回覧板で回すことがありますよね。

この回覧を「やさしい日本語」で作って、外国籍の住民の皆さんにも、わかりやすい回覧にしてみましょう！



外国籍の住民の皆さんにも読んでもらいたいお知らせを、ルールにもあった以下のことに注意して、「やさしい日本語」で作ってみましょう。

- 漢字には 必ずふりがなを振る
- 文節で区切って、スペースを空ける
- なるべく短い文章にする
- 文の末尾は、「です」、「ます」、「～ください」などにする
- わかりやすい表現になっているか、確認する

たとえば、こんな風で作ってみては、どうでしょう？

まるまるく す みな
〇〇区に 住んでいる 皆さん

まるまるくちょう
〇〇区長 ◇◇ ◇◇

ちょうないいつせいせいそう し
町内一斉清掃のお知らせ

がつ かんきょうげっかん
6月は、環境月間 です。

ちりとり

みんなで こうえん じんしゃ どうろ そうじ
公園、神社、道路を 掃除します。



てぶくろ

いつ がつようか にちようび ごぜん し
6月8日 日曜日 午前8時

どこ まるまるこうえん き
〇〇公園に 来てください。

持ち物 てぶくろ (掃除に 使うもの)、 ぼうし、
手袋 (掃除に 使うもの)、 帚、
ちりとり、ごみを ひろく どうぐ
拾う 道具

ひばさみ



※ よご 汚れてもいい ぶくろを きてください。

ほうき

わたくし す ぼしよ
私たちの 住んでいる 場所を
みんなで きれいにします。



※この案内は、外国人の方にもわかりやすいように、「やさしい日本語」で、作成しています。

◎伝えたいことは、次の5つです。

- ①日曜日にみんなで掃除をすること
- ②集合時間
- ③集合場所
- ④持ち物
- ⑤服装

○服装や道具は、わかりやすいようにイラストを入れて、ひらがなでその名称を添えました。
○タイトルと環境月間のことは、どうしても伝えたいことではないので、やさしい日本語にはしていません。

○この1枚で外国人にも日本人にも読んでもらうように作ったので、外国人にもわかるように、「やさしい日本語」で作っていることを書き添えて、地域の皆さんに、「やさしい日本語」について知らせるようにしています。

【 「やさしい日本語」で、生活のルールを伝えてみましょう！ 】

近所に住む外国籍の方が、燃えるごみの黄色い袋を持ってやってきました。今日は、燃えるごみの回収日では、ありません。ごみを出さないように伝えないと…

今日は、回収日ではありません。
そのごみは出さないでください。
燃えるごみの回収日は、火曜日
と金曜日ですから、その日に出
してください。

最近、引っ越してきた日本人の方に言うなら、こんな感じですね…

でも、相手は外国籍の方です。難しい言葉が入ったり、まわりくどくなったりしていませんか？

さあ、ここで、「やさしい日本語」を思い出してください！
「短い文で、易しい言葉で、本当に必要なことだけ！」
です。

も燃える ごみは 火曜日と
きんようびに 出します。
きよう日は、出しません。

地域で暮らす外国籍の方と話すときには、話し方にも気をつけてみてください。

- 文節ごとに、区切って話す
- ゆっくり話す
- 相手が理解しているかを確認しながら、次の言葉に進む
- 丁寧すぎる言葉は使わない
- 分かりやすい言葉で伝えることを忘れない



日本に住む様々な国籍の方と話すには、「やさしい日本語」が一番の近道です。
まずは、「おはようございます！」と声をかけてみてください。「オハヨウゴザイマス」と返されたら、「やさしい日本語」の出番です。

私たちが、「ルールを守ってくれない！」と、ちょっと腹を立てている人たちも、もしかしたら、普通の日本語やたくさん並んだ漢字が少し難しく、「ルールをきちんと理解できていない」だけなのかもしれません。

そんな人たちに、「やさしい日本語」でルールを伝えてあげたら、「知らなかったけど、今度はわかりました」「これからは、そうします」と、言って、ルールを守ってくれるようになるかもしれません。

あなたも、やさしい日本語で、「普段着の国際交流」にチャレンジしてみませんか？

参考：やさしい日本語変換の強い味方になってくれるシステムを紹介します。

◎日本語読解学習支援システム リーディングチュウ太

使われている言葉や漢字が「日本語能力試験4・5級程度」の基準を満たしているかどうかを簡単に検索できるシステムです。

◎やんしす・やさしい日本語支援システム

「やさしい日本語」にした文章のチェックができるシステムです。言葉の難易度や文の長さをチェックできます。

◎東日本大震災で伝えた「やさしい日本語」

～知りたい情報と表現方法を抜き出すための検索機能～

「やさしい日本語」の基本の文型や外国人に伝わる情報の配列順などを確認できます。

◆富士市では、2021年4月1日に、市のウェブサイト「やさしい日本語」変換システムを導入しました。この機能は、くらしと市政のトップページのForeign Language（外国語のページ）からご利用いただけます。ぜひ、こちらもご活用ください。